

平成29年11月29日

各 位

会 社 名 株式会社ショクブン  
代表者名 代表取締役社長 黒川 真太郎  
(コード：9969、東証、名証第2部)  
問合せ先 執行役員管理本部長 田澤 友英  
(TEL. 052-773-1011)

**(訂正)「平成29年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正について**

当社は、平成28年10月31日 14時00分に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途本日（平成29年11月14日）付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正箇所は下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正箇所を含む訂正後の全文を記載しております。

以 上

(訂正後)

## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 株式会社ショクブン 上場取引所 東・名  
コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小川 典秀  
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)保浦 知生 (TEL)052(773)1011  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年11月30日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,238	1.0	△67	—	△88	—	△121	—
28年3月期第2四半期	4,195	△4.7	△118	—	△135	—	△103	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △134 百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △140 百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△12.68	—
28年3月期第2四半期	△10.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,208	1,751	21.3
28年3月期	8,177	1,924	23.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,751 百万円 28年3月期 1,924 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,083	2.1	304	347.0	257	—	176	—	18.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	11,856,669株	28年3月期	11,856,669株
29年3月期2Q	2,252,487株	28年3月期	2,252,437株
29年3月期2Q	9,604,189株	28年3月期2Q	9,604,453株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」及び本日開示する「業績予想との差異及び業績予想の修正並びに記念配当を含む剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国の経済は、政府の景気対策や日銀の金融政策により、全体として緩やかな回復基調が見られました。一方で、景気の先行き不透明感等による個人消費の抑制傾向や、人手不足の雇用環境における人材確保の厳しさなど、経営環境は依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、昨年より「原点回帰」をキーワードに全社員が基本に立ち返って経営体制全般に渡って見直しを図っております。

宅配事業におきましては、お客様に一家団らの楽しい食卓を囲んでいただくべく魅力的なメニューを基に安全・安心で美味しい食材をお届けすることで、満足度の高いサービスのご提供に努めております。

また、法人向け事業においても、管理栄養士が作成する献立表のご提案や新鮮な食材をお客様のお手元までお届けする宅配システムなど当社グループが培ってきた強みを生かすことにより、介護施設をはじめ、保育所・幼稚園など「赤ちゃんからお年寄りまで」施設ご利用者様に「ご家庭の味」を楽しんでいただけるよう事業を展開しております。

結果、売上面では、主力のメニュー商品売上高については、40億89百万円（前年同四半期比101.0%）になり、特売商品売上高については、1億49百万円（前年同四半期比101.1%）になりました。

利益面につきましては、当第2四半期においては、台風被害等の天候不順による、一部の野菜類の生育不足と、品不足による仕入価格の高騰がありましたが、仕入体制の強化や生産体制の見直しを進めてきたことなどにより、売上原価率は61.1%と前年同四半期に比べ1.5ポイント減少しました。

他方、販売体制においては宅配コースの見直しに着手し、販売効率の改善を図りましたが、未払残業代の計上に伴い、販売費及び一般管理費は、前年同四半期に比べ29百万円増加し、17億15百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は42億38百万円（前年同四半期比101.0%）、経常損失は88百万円（前年同四半期比は1億35百万円の経常損失）になり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億21百万円（前年同四半期は1億3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、有形固定資産等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ30百万円増加の82億8百万円になりました。

負債につきましては、支払利息を減らすために、長期借入金から短期借入金に割合変えをしたこと等により、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加の64億57百万円になりました。

純資産につきましては、利益剰余金等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少の17億51百万円になりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想については、平成28年5月10日に公表しました予想数値を変更しております。詳細は、本日付「業績予想との差異及び業績予想の修正並びに記念配当を含む剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	587,156	508,964
受取手形及び売掛金	46,262	50,086
原材料及び貯蔵品	144,886	143,098
繰延税金資産	807	1,153
その他	31,001	56,797
貸倒引当金	△122	△762
流動資産合計	809,991	759,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,127,643	1,098,830
土地	5,236,784	5,236,784
その他(純額)	257,183	360,135
有形固定資産合計	6,621,611	6,695,750
無形固定資産	83,019	80,538
投資その他の資産		
投資有価証券	149,969	153,348
退職給付に係る資産	157,977	166,144
繰延税金資産	2,175	1,951
その他	353,190	351,311
投資その他の資産合計	663,312	672,756
固定資産合計	7,367,942	7,449,045
資産合計	8,177,934	8,208,383
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	377,281	320,512
短期借入金	1,730,000	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,187,253	1,260,784
未払法人税等	44,849	38,269
賞与引当金	40,960	34,251
その他	598,834	635,276
流動負債合計	3,979,178	4,139,093
固定負債		
長期借入金	2,026,324	2,075,869
退職給付に係る負債	5,795	5,556
資産除去債務	24,717	24,968
繰延税金負債	84,923	86,520
その他	132,270	125,090
固定負債合計	2,274,030	2,318,004
負債合計	6,253,208	6,457,097

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,488,147	1,488,147
利益剰余金	376,190	215,946
自己株式	△1,110,965	△1,110,989
株主資本合計	1,901,382	1,741,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,249	△6,684
退職給付に係る調整累計額	28,592	16,855
その他の包括利益累計額合計	23,343	10,170
純資産合計	1,924,725	1,751,285
負債純資産合計	8,177,934	8,208,383



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,195,117	4,238,966
売上原価	2,627,197	2,590,071
売上総利益	1,567,919	1,648,895
販売費及び一般管理費	* 1,686,326	* 1,715,950
営業損失(△)	△118,406	△67,055
営業外収益		
受取利息	908	1,478
受取配当金	3,167	1,769
投資有価証券運用益	8,927	146
その他	12,084	4,510
営業外収益合計	25,088	7,905
営業外費用		
支払利息	34,879	29,394
その他	7,371	374
営業外費用合計	42,250	29,768
経常損失(△)	△135,568	△88,919
特別利益		
投資有価証券売却益	63,339	-
特別利益合計	63,339	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△72,229	△88,919
法人税、住民税及び事業税	20,763	25,662
法人税等調整額	10,031	7,245
法人税等合計	30,795	32,907
四半期純損失(△)	△103,024	△121,826
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△103,024	△121,826

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△103,024	△121,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,355	△1,435
退職給付に係る調整額	△14,585	△11,737
その他の包括利益合計	△37,941	△13,172
四半期包括利益	△140,966	△134,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△140,966	△134,999

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。